

# 一般質問



## 生活路線バスと市民バス

### 命の根源「水」について

真崎 寿浩



普通列車の増発を要望している田沢湖線

#### 交通体系について

**質問** 「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市」の実現のためには、観光で訪れる人との「ふれあい」「交流」が実感できる環境づくりが必要である。

**市長** 生活バス路線の白岩線が廃止されるなど、ほかのバス路線も今後廃止が検討される要素はある。早急に観光との結びつきを強化すべきだ。

**市長** 羽後交通より十三路線のうち、白岩線が九

月で廃止とのことである。白岩線を利用されている住民の足を確保することを検討しているが、今のところデマンドバスと言う予約を受け付けて配車する方法を考えている。

他に廃止の話はないが、当然お客が減れば、次のところが出てくると思うが、仙北市として独自の方法を考えていきたい。抱返りとの関係では、わらび座との連帯を視野に入

れながら、観光のために別途に考えていきたい。

#### 秋田内陸線の存続は、莫大な負担を求められることも予想されるが、市民の努力次第では達成できる。運営形態、利便性などの向上を計るべきだ。

**市長** 市民総参加の乗車促進運動を展開しているが、非常に厳しい判断を求められている。再生計画の目標値に達していないが、観光会社が呼び込んだ乗客は確実に増えている。観光的な要素の中で活路を見出したい。

**市長** 盛岡、秋田間に快速列車の運行など、観光路線として、また地域住民の足として、田沢湖線の運行の充実を働きかけるべきと思うがどうか。

**市長** 市としてJRに対して要望している事は、田沢湖線の普通列車の増発、新幹線の関係では田沢湖駅、角館駅に止まらない列車が二本ある。二本とも止まる事、自由席の設置などであるが、JRとしても今の利用の現状では難しいと判断している。地元の状況、事情を今後もJRに要望していきたい。

**質問** 住民が観光地でよかつたと言う認識が不足している中で、地域密着型の

イベントを行うことにより、地場産業との関わり方、観光資源を共有する認識が高まるのではないかと。

**市長** 昨年神代地区の皆さんが自主的に県の「きらめき事業」の補助金を受けて行ったが、今年は雪不足のためか出来なかったのは残念である。今後共、地元で育てたイベントが定着することを期待すると共に、市としても相談にのりたい。

#### 水道事業について

**質問** 井戸水にも異常気象の影響が出ている。また上流部に位置している仙北市としては、水質保全の観点からも下水道、浄化槽の設置などの必要性をもっと住民に認識させるべきだ。

**市長** 神代地区への給水は角館浄水場から引くことを考えている。角館地区も角館浄水場から引く未並及地もある。十九年度神代地区でのアンケート調査の結果を見て、具体的な順番が決まってくるものと思う。農業用水も心配されるところであるが、水質保全については同感である。